

製品名: RAGE ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02516**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 43 kDa; Observed MW: 55 kDa

抗原情報

遺伝子名	AGER
別名	AGER; RAGE; Advanced glycosylation end product-specific receptor; Receptor for advanced glycosylation end products
遺伝子 ID	177
SwissProt ID	Q15109
免疫原	ヒト RAGE の組み換えタンパク質

背景

終末糖化産物 (RAGE) 受容体は、免疫グロブリン (Ig) スーパーファミリーに属し、終末糖化産物 (AGE) の相互作用を媒介します。AGE が RAGE に結合すると、細胞内の酸化ストレスが誘導され、転写因子 NFκB が活性化されます。酸化ストレスの誘導は、p21 ras と MAP キナーゼを介した細胞内カスケードの活性化につながり、転写の活性化につながることが示唆されています。

研究分野

神経科学

画像データ

RAGE 抗体を使用したマウス肺溶解物中の RAGE のウェスタン ブロット分析。

